

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373300660
事業所名	アットホーム三谷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 商業ビルを改装した介護施設であり、設備も最新ではないが、本年も中学生の福祉体験を受け入れた。体験感想文に対し、丁寧に返事を送っており、地域の一員としての存在が確立している。近隣のグループホームとの交流も始まった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 奇数月に、地域包括支援センター職員、民生委員、利用者・家族を招いて開催している。前年・前々年の目標達成計画に「会議の形骸化が感じられ、活性策を・・・」を掲げ、会議の活性化に向けて、打開策を模索している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護受給者の受入れがあり、福祉課とは常に連携を図っている。長寿課より「認知症ステージ表」の作成を依頼された。この表が、老人福祉・介護に関する出版物に掲載されたこともあり、協力関係がさらに深まった。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 昨年、利用料の支払いを口座振込方式に変更したため、家族の訪問が減り、対面して意見・要望を聞く機会は減った。十分な説明機会を設けたため、支払方法の変更に関する苦情は出ていない。毎月のホーム便りでの近況報告の際に、できるだけ多くの写真を同封し、内容を充実させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	○	○	○	○				